

## 原料費調整（スライド）制度に基づく2024年4月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。ただしくことになりましたので、お知らせいたします。

敬具

### 記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2024年4月検針分に適用される従量料金単価を、2024年3月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり+2円73銭（税込）調整させていただきます。なお、2024年4月検針分に適用される従量料金単価は、政府の支援（電気・ガス価格激変緩和対策事業）で、15円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされています。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合、ガス料金は月額6,171円（税込）となり、57円（0.93%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m<sup>3</sup>あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2023年11月～2024年1月のLNG、プロパンの平均原料価格を2023年11月の貿易統計確報値および2023年12月～2024年1月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は98,930円/t となります。2024年3月検針分のガス料金調整額を算定した2023年10月～2023年12月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2023年11月～2024年1月の実績平均原料価格は、トンあたり3,140円上昇することになります。また、政府の支援により15円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされていますので、料金調整は上記のとおりとなります。

電気・ガス価格激変緩和対策事業の詳細につきましては資源エネルギー庁「電気・ガス価格激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。

[\(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/\)](https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/)

●2024年4月検針分に適用されガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2024年3月検針分の従量料金単価に対して、+2.73円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m <sup>3</sup> あたり)	
			2024年4月	2024年3月
A	0 m <sup>3</sup> から 10 m <sup>3</sup> まで	976.80 円	279.68 円	276.95 円
B	10 m <sup>3</sup> を超え 170 m <sup>3</sup> まで	1,593.46 円	218.01 円	215.28 円
C	170 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで	4,690.18 円	199.79 円	197.06 円
D	500 m <sup>3</sup> を超える	10,674.18 円	187.83 円	185.10 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※2024年3月および2024年4月の従量料金単価は、政府の支援により、15円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされています。

●2024年4月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合

2024年4月適用料金 (a)	2024年3月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,171 円	6,114 円	57 円	+0.93%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年～2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m<sup>3</sup>）

	2023.11～2024.1	2023.10～2023.12	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	98,930	95,660	132,510
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	90,590	93,480	88,150
平均原料価格(LNG換算)	98,930	95,790	131,740

■2023年11月～2024年1月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\
 &= 98,930 \text{ 円/t} \times 0.9788 + 90,590 \text{ 円/t} \times 0.0231 \\
 &= 98,925.313 \text{ 円/t (10円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{98,930 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 98,930 \text{ 円/t} - 131,740 \text{ 円/t} \\
 &= -32,810 \text{ 円/t (100円未満切捨て)} \\
 &= \underline{-32,800 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} - \text{政府の支援による値引き} \\
 &= \{ -32,800 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times 1.10 \} - 15 \text{ 円} \\
 &= -28.864 - 15 \\
 &= \underline{-43.87 \text{ 円/m}^3}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

※政府の支援により、15円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされています。

	2024年4月	2024年3月	増減
調整額 (円/m <sup>3</sup> ・税込)	-43.87	-46.60	+2.73

以上